

Q：発達障害と不登校に関係はあるの？

A：発達障害だから不登校になるのではなく、コミュニケーション能力が低いので、思春期を迎えたころ、友達を作れなかったり、自然に話すことができなかつたりすることが多くなり、自分の居場所感の無さを感じて不登校になることがあります。このように、中学生の不登校は、発達障害の二次障害の場合も多く見られます。

Q：運動会や文化祭など行事には参加できるのですが、そろそろ教室に行くように勧めてもよいでしょうか？

A：不登校の子どもたちの中には、こだわりが強かったり、人の気持ちを理解するのが苦手だったりする場合があります。あれだけ人を嫌がるのだから無理だろうと思っていても、大好きな行事には参加できることもよくあります。そのことと教室や学校へ行くのはまた別のことで、行事への参加が登校刺激の時期にはならないこともありますから、本人の気持ちを確かめる必要があります。わがままに見えることもありますが、行事だから参加できるだけで、学校へ行く準備ができたのとは違いますから気を付けましょう。

Q：子どもが「クラスを替えてほしい」というような要望をしてきたときは？

A：「クラスを替えてほしい」とか「学級担任を替えてほしい」とか、「〇〇ちゃんと一緒にになりたい」などの要望が出されてきたときは、まずその気持ちに共感して聞きましょう。その要望もまた、子どもたちのしんどいというサインなのかもしれません。「本当にそれができると思う」と子どもに尋ね返してみると、難しいことだと分かっていることも多いようです。

Q：病院を勧めるときはどのようにしたらいいですか？

A：発達障害の疑いがあるときや、心理不安が高く、病院を受診を勧めたいときに保護者に言いたすのは難しいものです。「学校側が責任逃れをしているように思われるのではないか」とか「心療内科を勧めるのは少し気が引ける」などと考えがちです。すぐに病院に行くように勧めるのではなく、病院に行く去何が分かりどのように対処してくれるかということを生方がよく理解した上でアドバイスすると思います。

Q：WISC検査はなんのためにするの？

A：この検査をしたから必ず発達障害が分かるものではありません。個人内の能力の偏りが分かります。これがコミュニケーション能力の弱さにつながっていることもあるようです。検査結果は、これからの学習や生活面の支援に生かしたり、保護者と相談しながら、個別の指導計画を立てたりするときに役立てていきます。

Q：不登校の子どもに小遣いをあげてもよいのでしょうか？

A：不登校であっても、今までと同じに渡してあげた方がいいです。買い物のために、書店やコンビニなどに出かける機会をつくり出すことにもなります。不登校であることと、子どもの生活を規制することを結び付けてはいけません。この機会に子どもと生活の仕方を話し合うこともいいのではないのでしょうか。

Q：どんな施設や病院があるのですか？

A：県の施設には「子ども療育センター」や「心と体の健康センター」があります。「子ども療育センター」では、発達障害の相談や不登校、心理不安などの相談ができます。「心と体の健康センター」には、思春期精神保健相談があり、不登校や心身症などの医療的な相談ができます。その他にも各地域には心療内科などの病院がありますから、養護教諭や特別支援教育コーディネーターが情報を収集しておくともよいでしょう。

連携先（愛媛県関係機関）

- ◆愛媛県心と体の健康センター／TEL 089-911-3880 松山市本町7-2（愛媛県総合保健福祉センター内）
- ◆愛媛県立子ども療育センター／TEL 089-955-5533 東温市田窪2135番地
- ◆愛媛県発達障害者支援センター（あい♥ゆう）／TEL 089-955-5532 東温市田窪2135番地
（愛媛県立子ども療育センター内）
- ◆愛媛県中央児童相談所／TEL 089-922-5040 松山市本町7-2（愛媛県総合保健福祉センター内）
- ◆愛媛県東予児童相談所／TEL 0897-43-3000 新居浜市星原町14-38
- ◆愛媛県南予児童相談所／TEL 0895-22-1245 宇和島市丸之内3-1-19
- ◆愛媛県総合教育センター教育相談室／TEL 089-963-3986 松山市上野町甲650番地